

●外来水生植物の異常繁茂(ナガエツル/ゲイトウ・オオバナミズキンバイなど)

★特徴★



2013年4月

4ヶ月で圧倒的な繁殖力

2013年8月



写真は南湖のオオバナミズキンバイ

写真提供:IVUSA

- ・熱帯原産で、**最強最悪の侵略的水草**などと呼ばれている。
- ・生態系に悪影響を与え、農業・漁業に深刻な被害をもたらす。
→ 法律で、「**特定外来生物**」に指定され、**栽培・移動厳禁**。
- ・河川や水路への**流入経路は琵琶湖**。流れ着いたものが根付いて琵琶湖沿岸、市内の河川・水路・沼で群落を形成。
- ・**生命力が強靱**で、ちぎれた**一片の茎や葉などから再生**する。



ナガエツル/ゲイトウ

- ・単に**切るだけでは拡散するだけで**、意味がない。
- ・駆除の際は、**一片も取り残さないよう**、細心の注意が必要。
- ・**陸上でも繁茂できる**ので、岸へ上げるだけでは、死滅しない。
- ・放置すると、**河川・水路が埋め尽くされ**、**水流を阻害**する(左写真)。
- ・群落になると、**重機を使って**の駆除になるが、**多額の費用**が高む。
- ・処分するにも、清掃センターでは**一度に大量の持込み不可**。
- ・持込み前に乾燥が必要なため、**一時保管場所の確保**が必要。

★現状★(ナガエツル/ゲイトウの主な分布)

・琵琶湖沿岸

松原、大藪、八坂、須越、薩摩、柳川、新海浜の漁港・港湾・浜・突堤・水路・河口付近など。

・沼

神上沼(オオバナミズキンバイの生育も確認)
野田沼 など

・河川

矢倉川、江面川、宇曽川、不飲川、来迎川、東川、雲川、犬上川など。

・水路

野田沼水路、新海浜排水路など



★解決に向けて★

- ★何よりも**早期発見・早期駆除**が最善の対応法。小さうちに根気よく継続して除去するしかない。
 - ★大群落の駆除や撤去および処分には多額の費用と膨大な労力を費やすため、**予防的対策を早急**に実施すべき。
 - ★外来生物の担当課だけでなく、河川・水路・沼の管理者(担当課)や農業・漁業担当課など**組織内での意思統一と横断的な連携**を深める一方、**大学・住民・ボランティアなどあらゆる主体との協働が不可欠**。
 - ★**琵琶湖流域全体の問題として捉え、県・市町が連携した根本的な取組**が必要。→**琵琶湖外来水生植物対策協議会**設立。
 - ★駆除活動に参加できるボランティアを募集中です。できる時にできる範囲で、気軽に気楽に参加くださいね！
- 彦根市生活環境課 電話:30-6116 E-mail : kankyohozen@ma.city.hikone.shiga.jp までご連絡ください。